

2017年度 決算補足資料

2018年5月11日



2017年度 決算のポイント

(単位：百万円)

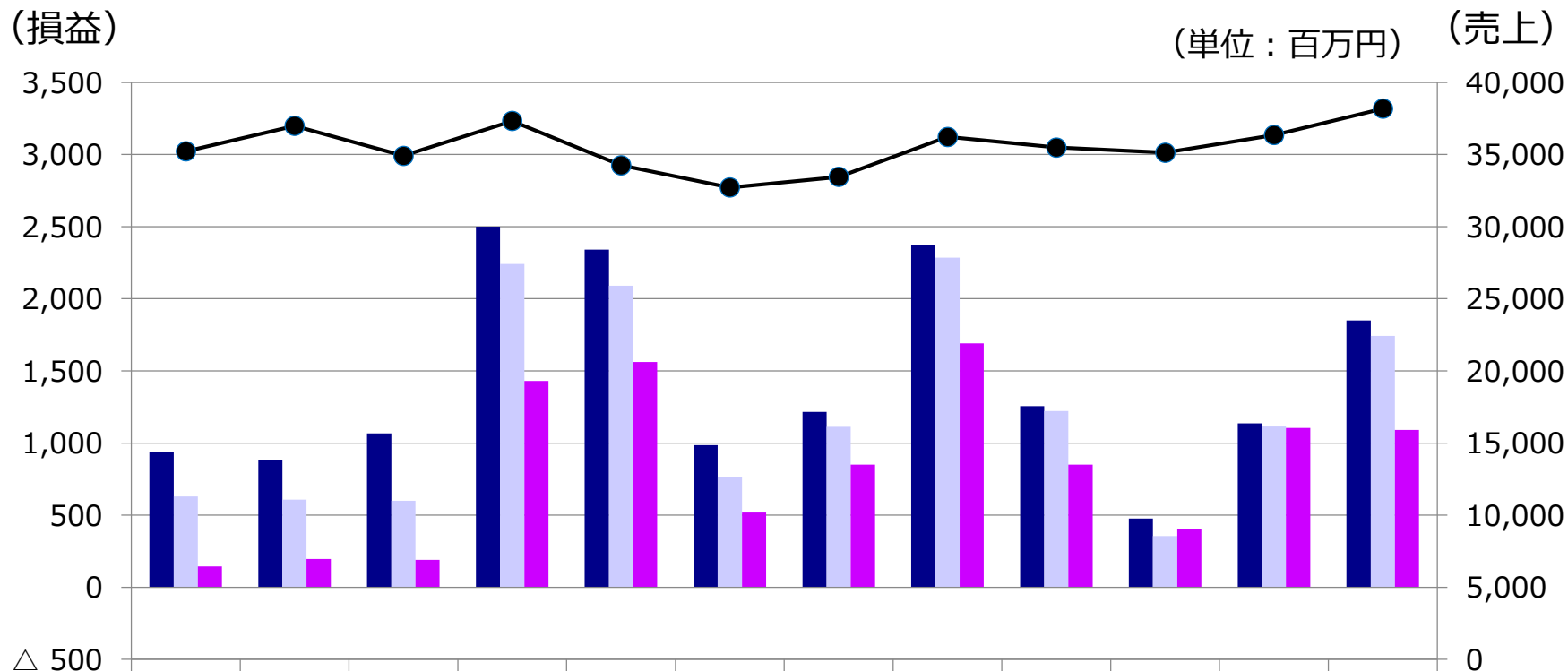
	2016年度		2017年度		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	136,657	100.0%	145,167	100.0%	8,510	6.2%
営業利益	6,912	5.1%	4,718	3.3%	△2,194	△31.7%
経常利益	6,256	4.6%	4,436	3.1%	△1,820	△29.1%
当期純利益	4,620	3.4%	3,450	2.4%	△1,170	△25.3%
EPS (円)	178.77		133.40			

(参考) EBITDA 2016年度 20,693百万円 2017年度 19,617百万円
 ※EBITDA=営業利益+減価償却費

《全体感》

- 売上：受注量増加、アルミ地金市況上昇の影響等により増加
- 営業利益：米国、栃木工場での生産性改善の遅れ、価格改定の影響等により減益
- 経常利益：営業利益の減少により減益
- 当期純利益：経常利益の減少により減益も、北米の税効果により減益幅圧縮
- EPS：当期純利益の減少により、45.37円/株減少

連結決算概要（四半期推移）



	15年度 1Q	15年度 2Q	15年度 3Q	15年度 4Q	16年度 1Q	16年度 2Q	16年度 3Q	16年度 4Q	17年度 1Q	17年度 2Q	17年度 3Q	17年度 4Q
△ 500												
■ 営業損益	936	883	1,066	2,500	2,340	986	1,216	2,370	1,255	477	1,136	1,850
■ 経常損益	629	607	599	2,242	2,090	767	1,113	2,286	1,222	356	1,115	1,743
■ 当期純損益	144	197	191	1,431	1,562	518	850	1,690	850	405	1,105	1,090
● 売上高	35,217	36,989	34,913	37,332	34,258	32,718	33,453	36,228	35,494	35,136	36,359	38,178

ダイカスト事業

(単位：百万円)

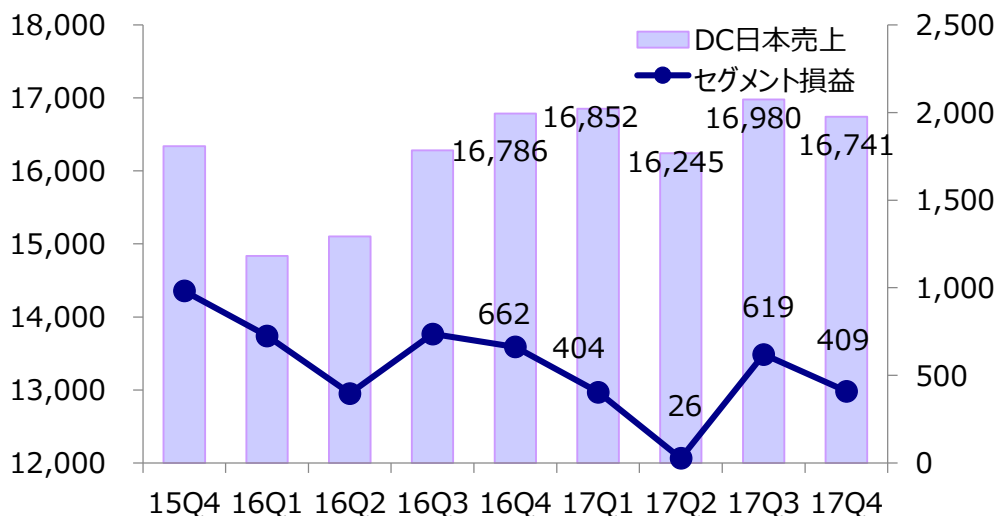
		2016年度		2017年度		増減	
日本	売上高	63,008	100.0%	66,818	100.0%	3,810	6.0%
	セグメント損益	2,519	4.0%	1,458	2.2%	△1,061	△42.1
北米	売上高	40,854	100.0%	39,937	100.0%	△917	△2.2%
	セグメント損益	2,163	5.3%	291	0.7%	△1,872	△86.5%
アジア	売上高	26,128	100.0%	30,442	100.0%	4,314	16.5%
	セグメント損益	1,758	6.7%	2,378	7.8%	620	35.2%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2016年度：51.5% ⇒ 2017年度：51.3%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



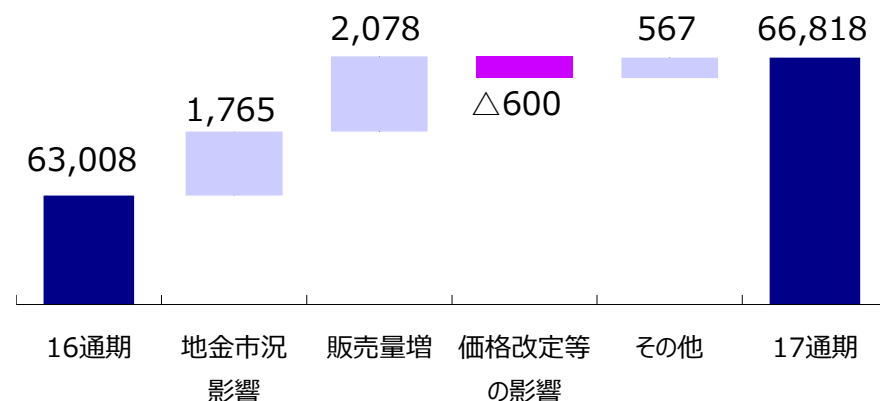
売上：38.1億円増（前期比6.0%増）

➤ 主要顧客の輸出が好調で受注量が増加

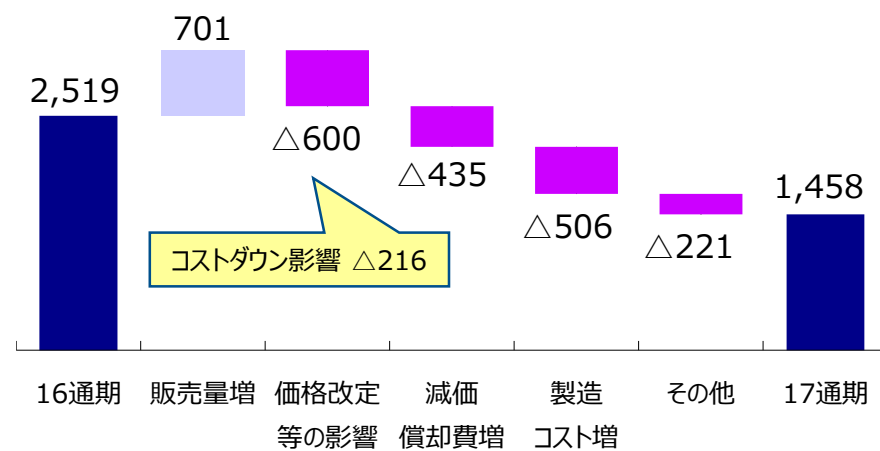
セグメント損益：10.6億円減（前期比42.1%減）

- 労務費、燃料費の増加の影響等もあり減益
- 国内工場の生産性向上により収益は改善中
- 栃木工場は製造コスト削減のため省人化等推進中

売上高増減要因（単位：百万円）

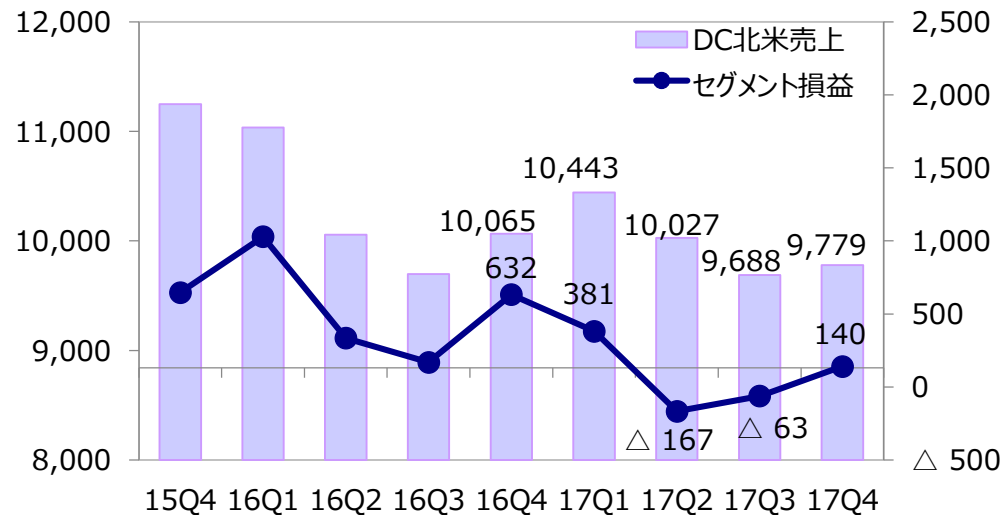


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



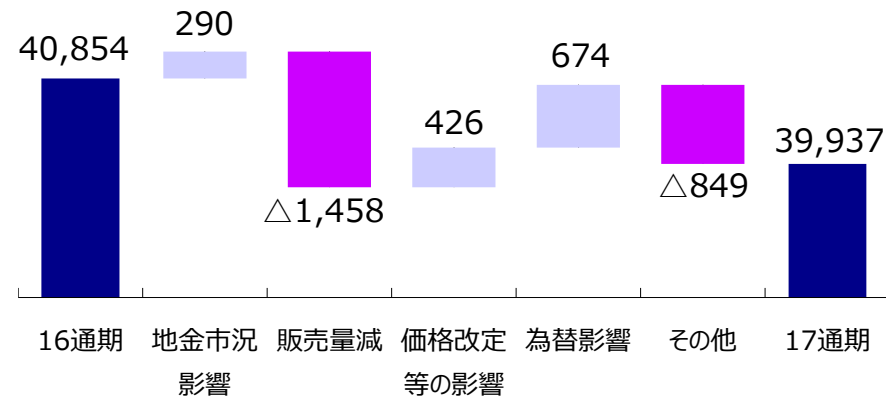
売上：9.1億円減（前期比2.2%減）

- 米国はダウンサイジング等の影響による受注減
- メキシコでは受注増加傾向

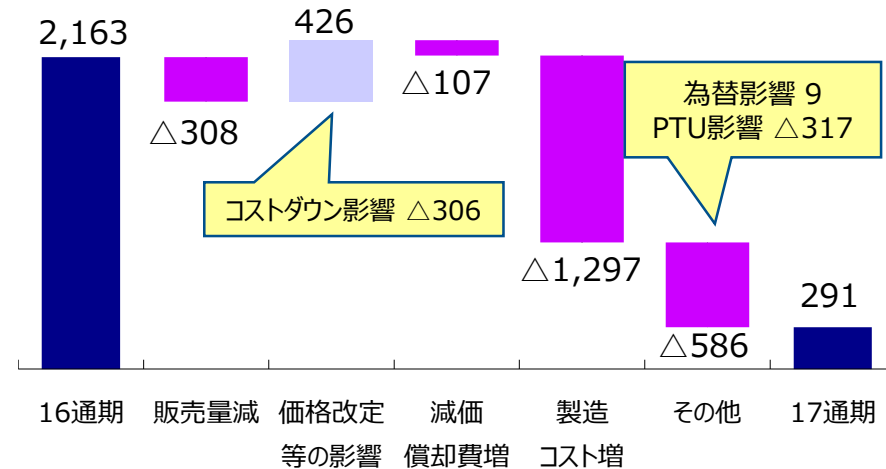
セグメント損益：18.7億円減（前期比86.5%減）

- 米国は売上減少と生産性改善の遅れにより減益プロジェクトが1月から始動し、生産性改善の推進中
- メキシコは販売増による増益を燃料費増等が打消し（2017年度1Qより、PTUを営業利益に計上）

売上高増減要因 (単位：百万円)



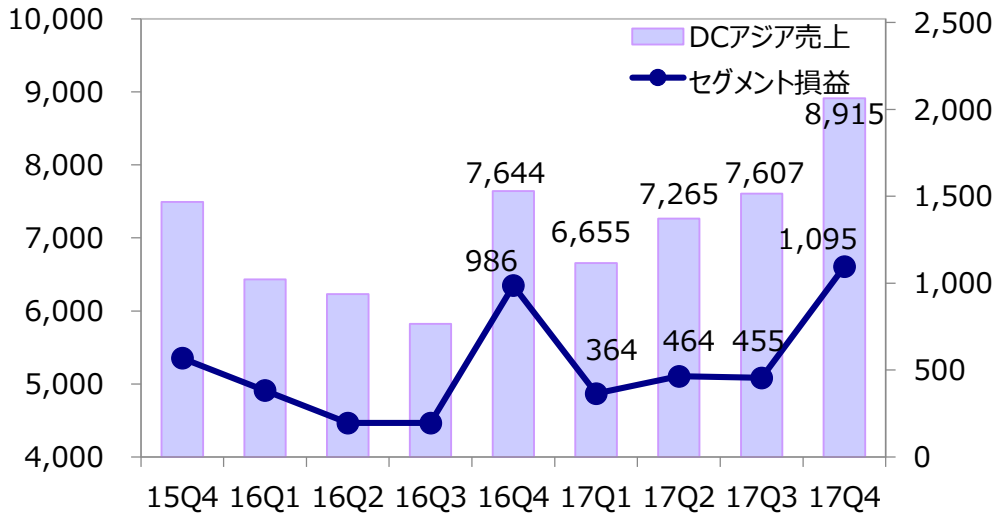
セグメント損益増減要因 (単位：百万円)



決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期
レート（16Q4⇒17Q4）アメリカ 109.18⇒110.83 メキシコ 110.30⇒112.39

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：43.1億円増（前期比16.5%増）

- 中国はSUV増産等による受注増
- インドも受注増により売上増加

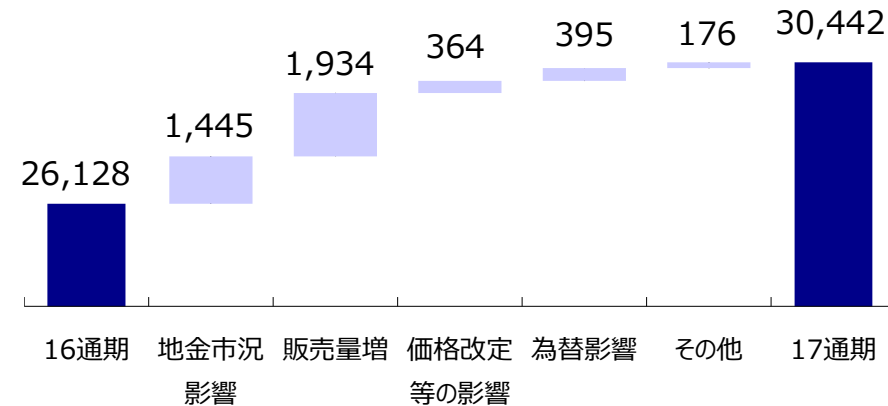
セグメント損益：6.2億円増（前期比35.2%増）

- 中国・インドでの受注増加により増益
- 中国の生産性改善も収益に貢献

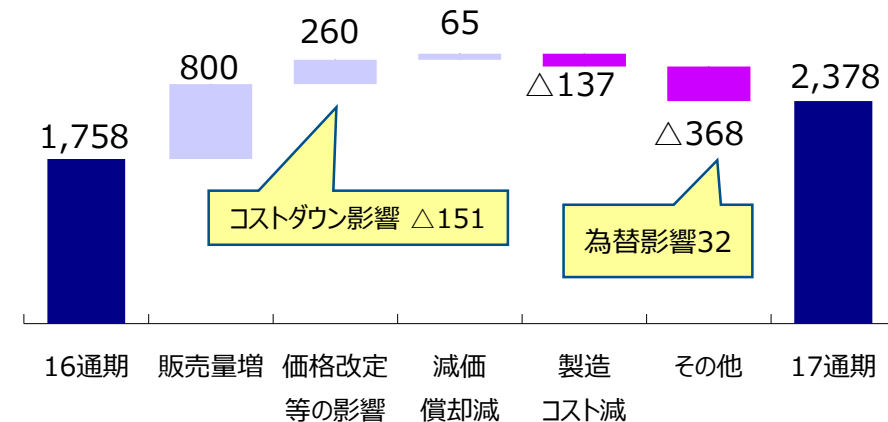
決算期：中国12月期、インド3月期

レート（16Q4⇒17Q4） 人民元 16.56⇒16.64 インドルピー 1.63⇒1.72

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2016年度		2017年度		増減	
		売上高	セグメント損益	売上高	セグメント損益	増減	増減率
アルミニウム事業	売上高	4,402	100.0%	4,597	100.0%	195	4.4%
	セグメント損益	274	6.2%	213	4.6%	△61	△22.2%
完成品事業	売上高	2,263	100.0%	3,371	100.0%	1,108	49.0%
	セグメント損益	155	6.8%	392	11.6%	237	151.6%

アルミニウム事業

- ▶ 売上：アルミ地金市況変動の影響を受け増収（前期比4.4%増）
- ▶ セグメント損益：燃料費の価格上昇等により減益（前期比22.2%減）

完成品事業

- ▶ 売上：受注の増加により増収（前期比49.0%増）
- ▶ セグメント損益：売上の増加、原価低減活動等により増益（前期比151.6%増）



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664
E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com
URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。